

(議事要旨)

○社会資本総合整備計画（渋滞対策による円滑な道路ネットワークの構築）について

【Pa16】

●委員

アウトカム指標として「整備率」をあげていますが、アウトプット指標であり、アウトカム指標ではないと思います。

●道路課

資料55ページをご確認ください。この7箇所が渋滞している交差点であり、これらの交差点の渋滞解消に寄与するパッケージとしています。渋滞の起こっている交差点の解消を図るということで、このような指標にさせていただきました。

●委員

アウトカムであれば、渋滞がどのくらい緩和された等であり、渋滞の待ち時間や様々な尺度により計って、これだけ渋滞が解消されましたというものでは。整備をした箇所の数でアウトカムと言われますと、ちょっとまずいのではないのでしょうか。

また、事業費に関してですが、整備計画で、14億円ぐらいです。この金額が、実施済み事業費と一致しておりますが、たまたま一致したのでしょうか。

●道路課

実施済み事業費は、すでに完成いたしました草津守山線についてです。ここに5路線ありますが、この5路線のうち草津守山線下ノ郷と草津守山線金森、この2つのH25、26事業費の実績という形で抽出しています。

●委員

整備計画の事業費と実施済み事業費が同じになっているのですが、整備計画はいつ、いつ、この事業費がどのようにして決まったのか教えていただきたい。

●道路課

平成26年度に完了した2箇所の事業費が13億6800万でございます。

●委員

全く計画通りの数字で実現したということですか。

●道路課

はい。

●委員

完了した2箇所の当初予算と実施額はいくらだったのでしょうか。それと比較しないと。

●道路課

当初、2箇所合計で15億3000万です。

●委員

おそらく、その事業費をいれられるのが正解だと思います。数値としては承知しました。

●**委員長**

ご指摘ありがとうございました。

●**委員**

アウトカム指標につきまして、いつも議論になっているところではありますが、私も整備された箇所では評価するのはどうかと思います。渋滞の解消に寄与できたとありますが、やはり、その根拠ですね。何を持って今回渋滞が解消されたとおっしゃるのかをお示しいただきたいというのが1点。

整備計画最終年にも目標値が50%となっているのですが、平成29年度には渋滞箇所のどこがいったい解消されるのか。全部されるのか。あと2箇所を超えれば達成できると思うのですが、そのあたりの見通しがありましたら教えていただきたいと思います。

●**道路課**

最終年の50%の見通しでございますが、我々の予定では資料55ページの、野村中央、木川、さらに草津3丁目、そして六枚橋このあたりを解消していくという目標を基に、50%を達成できる見込みとしておりました。

●**委員長**

渋滞が解消しているという根拠についてお答えしてください。

●**道路課**

現時点で、しっかりとした分析というものはできておりません。これは今後の課題であると考えております。

●**委員長**

交付金のパッケージを作るときにアウトカム指標を決めておられるので、この値をチェックせざるを得ないというところはありますが、これはいつも議論になるのですが、事業を実施すれば直接この値が得られるというのはアウトカム指標とは違うと思うし、逆にアウトカム過ぎて関係性が分からず、ほんとに達成しているのかどうかわからないような指標になってしまうこともあるので非常に難しいと思うのですが、少しご指摘のように工夫をしていただいたほうが良いと思います。

渋滞長についても、4車線にしたことで十分であったのか、あるいは焼け石に水だったのかというあたりはチェックする必要があるだろうと思います。

このパッケージについてなかなか難しいとは思いますが、次の計画の時は考えていただけたらと思います。

●**委員**

残る3事業については他のパッケージへ移行するのですよね。

●**道路課**

はい。

●**委員**

このパッケージは完了しているということになるのではないのでしょうか。

●**道路課**

はい。

5路線のうち2路線が完了しており、残りの3路線は他のPaに移行して引き続き事業を実施しております。このパッケージにおきましては、現時点において事業を実施展開しているものはございません。これが実態でございます。

●**委員**

つまり、中間年で目標値25%に対して実績値が29%は目標達成しているということで、パッケージ16は終わっているということですよ。

●**道路課**

申しあげましたとおり、完了していない他の事業を他のパッケージに移行していますので、このパッケージ16というのは中身がありませんので、現時点の中間評価でもって、完了という整理をさせていただきたいと考えております。

●**副委員長**

残りの3路線は、全部事業着手していますか。

●**道路課**

全路線とも着手しております。

●**副委員長**

ならば、実際には平成29年度の目標が、実質的には完了しているんです。

●**委員**

平成29年というのは無くていいのです。計画が終わっている。

●**副委員長**

パッケージの廃止の手続をしてないから残っているだけです。

国土交通省には、平成29年度までの計画の書類が行っているのですよ。国土交通省も見たら終わるというのもわかるのです。今年で終わるのです。終わって、このまま塩漬けで3年間残っているのかということとそうじゃない、Pa16は今年の年度末で廃止にするのです。廃止にされるのですか。

●**道路課**

そのような思いです。

●**副委員長**

平成29年にこのPaは生きてないのですよ。

●**道路課**

表現が非常にわかり難いところで、まだ計画も生きていますので、当初はどんなことを考えていたかということ消してしまうと分かり難くなることもあり、結果的に非常に中途半端な表現になっております。

●**委員**

もともと平成29年までであったので、平成27年で中間評価が入るということですよ。

とも平成 27 年までの計画であったら、事後の評価になっていたということですね。

●副委員長

渋滞対策は道路課として重要な事だと考えこのパッケージを作ったが、なかなか予算がつかないから、それを他のパッケージに移行するというので、アウトカム指標が揺らぐことで何か気持ち悪くなっている。

そもそも、道路っていうのは多面的な性格をもっており、渋滞解消にもなれば、インターチェンジアクセスにもなるし、色々な意味がある。それを国土交通省との関係で他のパッケージに移行してアウトカム指標で評価する。だから、道路の評価は難しくなっている。ここでは、亡霊のように目標値 50%が残っているので、どうにかならないのかなっていうのがある。

●委員長

事実上、この Pa については事後評価の要素を含んだ評価になるということですね。

●委員

直接関係ないが、テレビの情報で曖昧ですが、道路の渋滞緩和について、信号機の時間を操作すれば意外と渋滞緩和になるということを知りました。特に通勤時間の信号機の時間調整で渋滞解消するという方法による渋滞緩和も考えられると思います。

そのようなものも道路課の仕事なのでしょうか。課は違うかもしれませんが、そういう課の連携ができることによって、少ないお金で、できることを考えなければいけないかなと思います。

●道路課

信号機は、交通管理ということで県警本部の仕事になります。特に渋滞がある交差点におきましては、4 秒を 3 秒に変更するなどを県警にもお願いしております、県警本部の取組として、信号機同士が情報を送りあい、最適な青時間を選びながら信号操作をするようなシステムの導入もあります。

彦根市の外町交差点からある信号機の半分はプロファイル信号機です。これを導入して 3、4 年になります。渋滞も続いてはいますが、先の信号機の交差点にどれだけ車があるかを感知し、信号機が自動で最適なタイミングで青に操作しております。

琵琶湖大橋の取付け道路につきましても管制センターで管理しております、非常に渋滞する交差点では、すべての時間帯でちよつとずつ秒数が違うということもしております。我々も渋滞についてお聞きすることはたくさんあるので、調整をしていきたいと思っております。

●委員長

そういうデータ共有もいろいろ進めていただけると、先ほど言ったアウトカム指標も楽になり、渋滞長もリアルタイムでデータが蓄積されていたりするので、わかりやすくなるのではないかなと思うので検討していただければと思います。

●副委員長

そもそも、パッケージを決める時に渋滞緩和の実態を取らなかった経緯が知りたいのが

一点。

平成 24 年のときから議論しているが、アウトカム指標をとるときに、その目的として適切かどうかを考えないといけない。そもそも、渋滞対策というのを道路整備だけであるのも限界があり、総合的な渋滞対策の中、街づくり政策の中で、道路整備をどう位置づけるのか議論して整備していくことが必要である。

●道路課

整備計画を策定した際のアウトカム指標が、適切でなかったという反省があります。

本来であれば渋滞に特化する整備計画を策定する時に、真剣にアウトカム指標をしっかりと議論を深めながらしていくのが本来の姿ではありますが、社会資本整備総合交付金制度に対する、われわれ自身の甘えがあり、アウトカム指標をアウトプットのようなものにしてしまったことの反省がございます。

●委員長

指標の設定の仕方等については、いろいろご意見をいただくところでありますが、残事業が他のパッケージに移っているという特殊事情がある中、諮問をいただいておりますが、中間評価に対する意見の取りまとめを、この委員会の仕事として行いたいと思います。